

子どもの夢が広がる 加東ICT教育 支援ガイドブック



加東市教育委員会

もくじ	1
ガイドに出てくる用語の解説	2
①加東市のICT教育の1日を見てみよう	3
②加東市のICT教育が目指している未来	5
③1人1台タブレットPCの環境でできること	8
④加東市の教室環境のイメージとセキュリティ	9
⑤1人1台タブレット型PCの使い方	10
⑥ICTを活用した授業づくり①	11
⑦ICTを活用した授業づくり②	13
⑧各教科における授業の例	15
⑨留意事項	19
⑩生成AIの活用について	20

～ガイドに出てくる用語の解説～

(※1) GIGAスクール構想 (3 P)

1人1台の学習者用の端末と、クラウド活用を前提とした高速大容量の通信ネットワークを学校に整備する計画。

(※2) 1人1台タブレット型PC (3 P)

GIGAスクール構想に基づき、学習者一人一人に貸与しているタブレット型のパソコン。

(※3) ドリルパーク (3 P)

個々に合ったレベル・ペースで知識の確かな定着や主体的に個人で学ぶ姿勢を支援する個別学習ドリル。

(※4) Googleクラスルーム (3 P)

学校で課題の作成・配布・採点・フィードバックをはじめ、連絡などに活用できる学習管理アプリ。

(※5) ムーブノート (3 P)

先生と子どもがやりとりをするだけでなく、子ども同士で教え合い、学び合う協働学習の授業を支援するアプリ。

(※6) 共同編集 (3 P)

1つのファイルを複数人がリアルタイムで編集できる機能のこと。

(※7) Googleドライブ (3 P)

文書ファイルや写真、動画など様々なデータをインターネット上でGoogleドライブと呼ばれるクラウドに保存ができるサービスのこと。

(※8) Googleミート (4 P)

ウェブ会議ができるアプリ。ウェブカメラやパソコン内蔵のカメラで映像を表示し、マイクで音声のやりとりをする。

(※9) Googleフォーム (4 P)

決められた形式でいくつかの必要項目にデータの入力や選択をミスなく、効率よくできるように作成された入力欄やアプリの入力画面のこと。アンケートやテストなどが簡単に作成できる。

(※10) QRコード (4 P)

Quick Responseの略。簡単に速くデータの読み取りができる二次元コードのこと。

(※11) オクリンク (4 P)

発表資料・ノートの作成に役立つ授業支援アプリ。PDF保存や共有が可能なため、課題作成に向いている。

(※12) 個別最適な学び (5 P)

子ども一人ひとりの理解力や個性に合わせた学習の提供を目的とした次世代の教育スタイル。

(※13) 協働的な学び (5 P)

子ども同士あるいは、地域の方々をはじめ、様々な他者と協働しながら、持続可能な社会の創り手となることができるよう、資質・能力を育成する学び。

(※14) 情報活用能力 (5 P)

「言語能力」「問題発見・解決能力」と同様に学習の基盤となる資質能力として学習指導要領に位置付けられた。

(※15) 主体的・対話的で深い学び (5 P)

学力の三要素「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「主体的に学習に取り組む態度」をより伸ばすための学び。学んだ知識を活用し、社会と関わる中でより良い人生を送れるようになることを目指す。

(※16) AI (8 P)

Artificial Intelligence (人工知能) の略。コンピュータがデータを分析し、判断、最適化提案等を行う技術を意味する。

(※17) クラウド (9 P)

インターネットなどのネットワーク越しにアプリを利用できるサービス形態のこと。インターネットを通じて、ソフトウェアを利用するため、パソコンへソフトウェアをインストールする必要がない。

(※18) Google ワークスペース (9 P)

Google社が提供するクラウドアプリケーションサービス。文書作成ソフトや表計算ソフト、ウェブ会議アプリなど、様々なアプリがある。

(※19) アカウント (9 P)

スマホやパソコン、インターネット上のサービスを利用する際に必要な個人認証情報のこと。IDとパスワードによって管理されることが多い。

(※20) ミライシード (10 P)

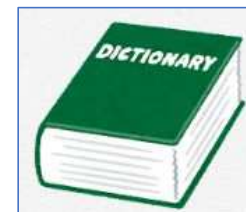
協働学習・一斉学習・個別学習それぞれの学習場面に対応したオールインワンアプリ。ムーブノート、オクリンク、ドリルパーク等が含まれる。

(※21) L-Gate (エルゲート) (10 P)

1人1台の学習者用端末を使った日々の学びや運用・管理を支援する学習eポータル。ポータルには、玄関という意味があり、学習eポータルから様々なアプリへアクセスをする。

(※22) プログラミング的思考 (18 P)

自分がやってみたい活動を実現するために、最適な方法を試行錯誤しながら、論理的に考えていく力。



1

加東市のICT教育の1日を見てみよう

加東市では、GIGAスクール構想（※1）に基づいて、全ての加東市立学校へ1人1台タブレット型PC（※2）とそれらをつなぐネットワーク回線の整備を行っています。GIGAスクール構想に基づいた加東市のICT教育の1日は、どのような生活なのでしょうか。そのイメージを見てみましょう。



子ども



ドリルパーク（※3）は、答え方で自分に合った問題が出るからやりやすいな。朝の会でGoogleクラスルーム（※4）を見て、修学旅行の予定を確認しよう。楽しみだな。

《朝の学習・朝の会》

朝学習のドリルパークを確認すると、正答率が低い問題があるわ。授業の初めに復習をしよう。修学旅行の日程をGoogleクラスルームに公開して、子どもたちに予定を確認してもらわなくちゃ。

先生



《社会の学習》



なるほど、そんな歴史があったのか。後で共同編集（※6）で、まとめるから、資料は、Googleドライブ（※7）に保存しておこう。

先生から課題が送られてきた。課題をまとめたから、考えをみんなとも共有しよう。



修学旅行先の調べた歴史について、ムーブノート（※5）を使って、クラスで交流しよう。まずは、1人で課題に取り組ませた方がいいかな。





なるほど、体育は、ダンスをしたんだ。

休み時間にも練習しよう！

今日は、ダンスをしたよ。

《休み時間》

体育の表現運動は、みんな楽しそうにおどっていたな。「もっと練習したい。」って言ってたし、動画を共有しよう。休んでいる子には、オンラインでみんなとつながってもらって様子を知ってもらおうかな。



《総合的な学習の時間》

「お客さんが多い時間は、いつ？」
「どのような仕事があるんだろう？」
QRコード（※10）を利用して、答えてもらうことはできるかな。

今日の授業は、Googleミート（※8）で地元の商店街の人の話を聞く勉強だな。子どもたちが調べたいことあるみたいだから、Googleフォーム（※9）でアンケートに答えてもらえないだろうか。



ドリルパークは、自分の苦手なところを自動で出してくれるから便利だな。朝顔の写真をとって、先生に提出しよう。

《宿題》

ドリルパークで、苦手なところを克服できてきているわね。朝顔の観察記録も、オクリンク（※11）で提出してもらって、変化が分かるようにしておこうかしら。



いかがでしょうか。このように、GIGAスクール構想の推進によって、学校の1日は、大きく変化しています。これらは、すでに学校で実践が始まっています。このガイドブックは、児童生徒がコンピュータを使った学びををさらに深められるよう、学校、家庭、地域が連携するために作成されたものです。ぜひ、このガイドブックを参考に、加東市のGIGAスクール構想を進めていきましょう！

2

加東市のICT教育が目指している未来

技術の急速な進展、急激に変わる社会情勢等、将来が見通せない状況の中、「問題を解決する力」を子どもたちが身につけることは、今の教育のキーワードとなっています。

国は、新しい社会に生きる子どもたちにとって、1人1台パソコンは、鉛筆やノートと並ぶ必要不可欠な道具であるとし、GIGAスクール構想を決定しました。1人1台パソコンを学習に使うことで、今まで以上に個別に応じた教育、学びの共有、身の回りの問題解決の経験を学校で深めることができます。

苦手な勉強ができる
ようになりたい…。

発表をもっとした
い…。

得意なことを増や
したい…。



プログラミング教育が楽しかったな。
身の回りの生活に活かすことはできな
いかな。

自分に合った問題
に挑戦!

自分の考えを相手に
送ったけど、他の場面
でも共有できないかな。

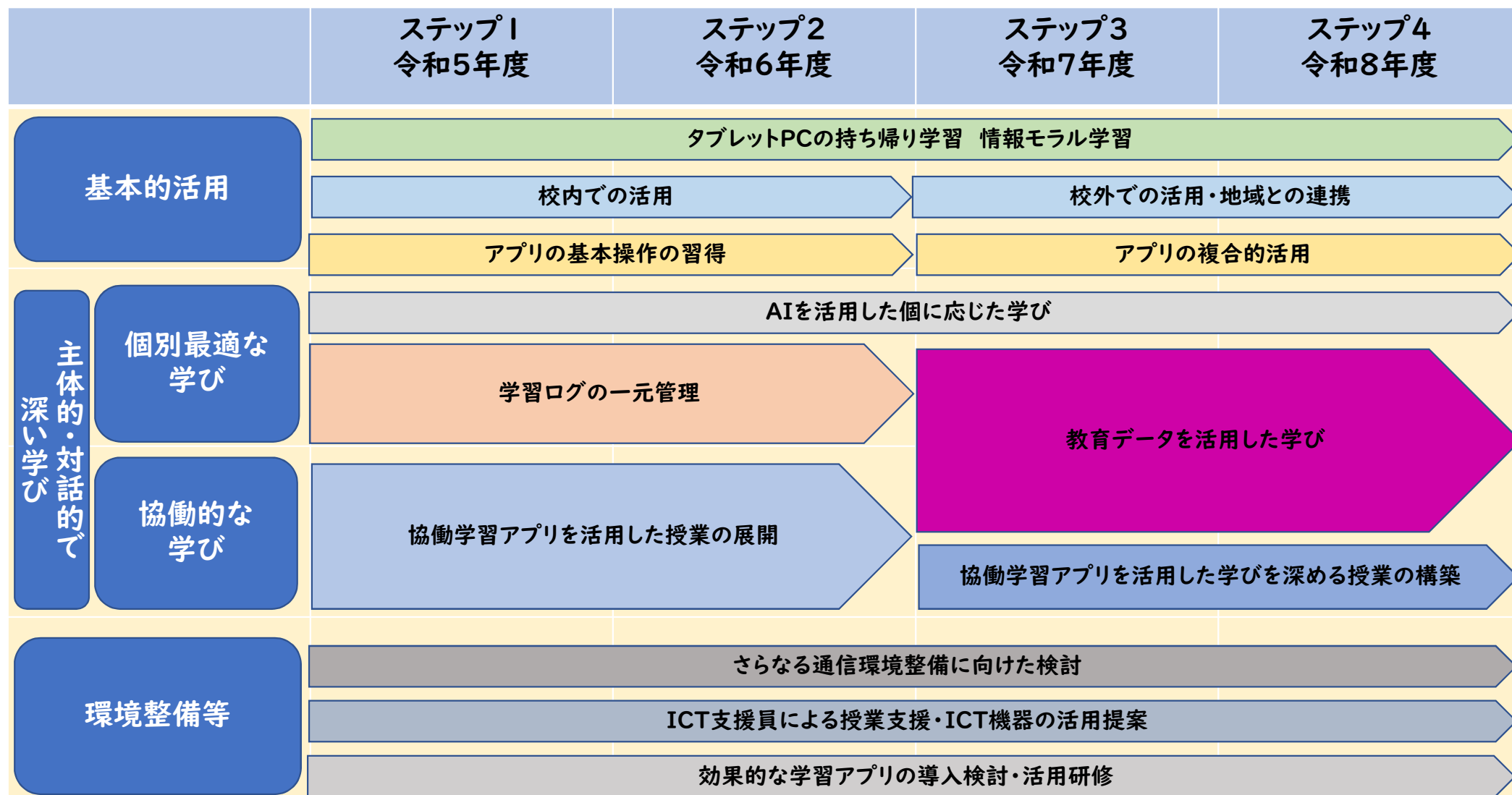


日々の授業で

・算数の分からない所を調べてみよう!
・友だちの考えから、新たな発見が!
・プログラミングを使ったら、地域の人に
いつでも分かりやすく伝えられそう!



■個別最適な学び(※12)の推進
■協働的な学び(※13)の推進
■情報活用能力(※14)の育成
■主体的・対話的で深い学び
(※15)の推進



情報活用能力育成指針

令和3年4月 加東市教育委員会

情報を収集・整理・選択・活用して自分の考えを創り、適切な方法で分かりやすく伝える力を育む。
情報モラルの必要性や情報発信の責任について考え、情報をよりよく活用しようとする態度を培う。

めざす 子ども像

様々な情報に楽しく触れる

課題を解決するために情報を活用する

生活を豊かにするために情報を活用する

自らの夢の実現や地域・社会をよりよくするために情報を活用する

資質・能力	第1ステージ				第2ステージ			第3ステージ			
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	7年生（中1）	8年生（中2）	9年生（中3）		
情報モラル 互いの立場や気持ちを大切にしながら、ルールやマナーを守って情報を活用しようとする。	自分や相手の情報を大切にしようとする。 ルールやマナーを守り、正しい情報を発信しようとする。				情報に関する権利を知り、適切に行動しようとする。 発信による影響、誤認性や危険性について理解して情報をやりとりしようとする。			責任をもって情報を発信しようとする。			
機器の操作 互いに教え合いながら、より便利な使い方を追求しようとする。	ログイン・カメラ操作		文書作成ソフトの操作		表計算・プレゼンテーション・プログラミングアプリ等の操作・共同編集 データ、ファイルの保存、管理、検索 ローマ字入力（目標：100文字／5分）					ローマ字入力（目標：200文字／5分）	
情報の収集・整理・選択 効果的かつ効率的に情報を集め、目的に応じて情報を選択しようとする。	本・図鑑・インターネットで調べる。		課題解決のために必要な情報を考えて調べる。			効率的・効果的な方法を選んで調べる。 推測・分類・要約・関連付けしながら情報を整理する。					
情報の発信・活用 自分の考えや伝えたいことなどを、分かりやすく伝えようとする。 情報や情報技術を生活に生かそうとする。	絵・写真を使って伝え合う。		新聞・ポスター等にまとめて伝え合う。		新聞・ポスター・プレゼンテーション・動画等、自分に合った方法で伝え合う。			相手の状況や発信する範囲を踏まえて、適切な方法で伝え合う。 ICT・プログラミングによる学びを生活や持続可能な社会づくりに生かそうとする。			
	ICT・プログラミングによる学びを生活に生かそうとする。										

1人1台タブレット型PCの環境でできること

AI(※16)を活用し、段階別や習熟度別等、個に応じた学びを推進できます。



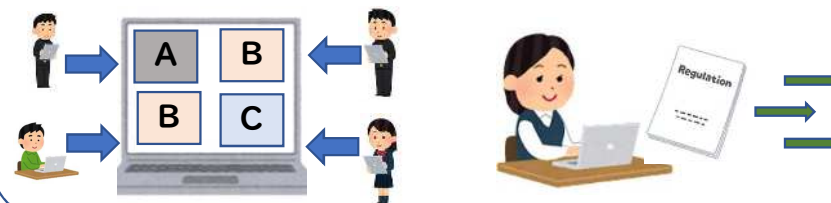
コンピュータやネットワークが認知や思考の補助を行います。

過去の自分の学習履歴から、俯瞰した
理解や連続した学びにつながる

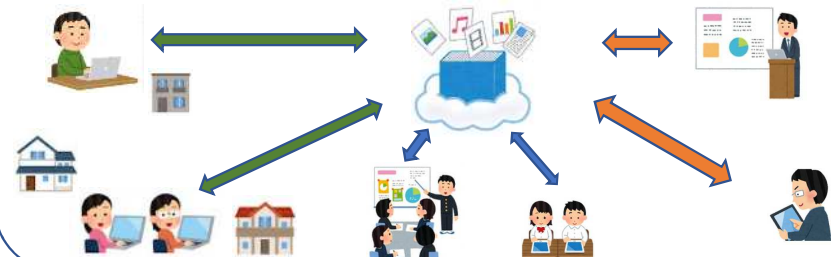


考えを一目で比較したり、配布にかかる時間の削減ができます。

プリント課題などを瞬時に一斉
配信・回収する

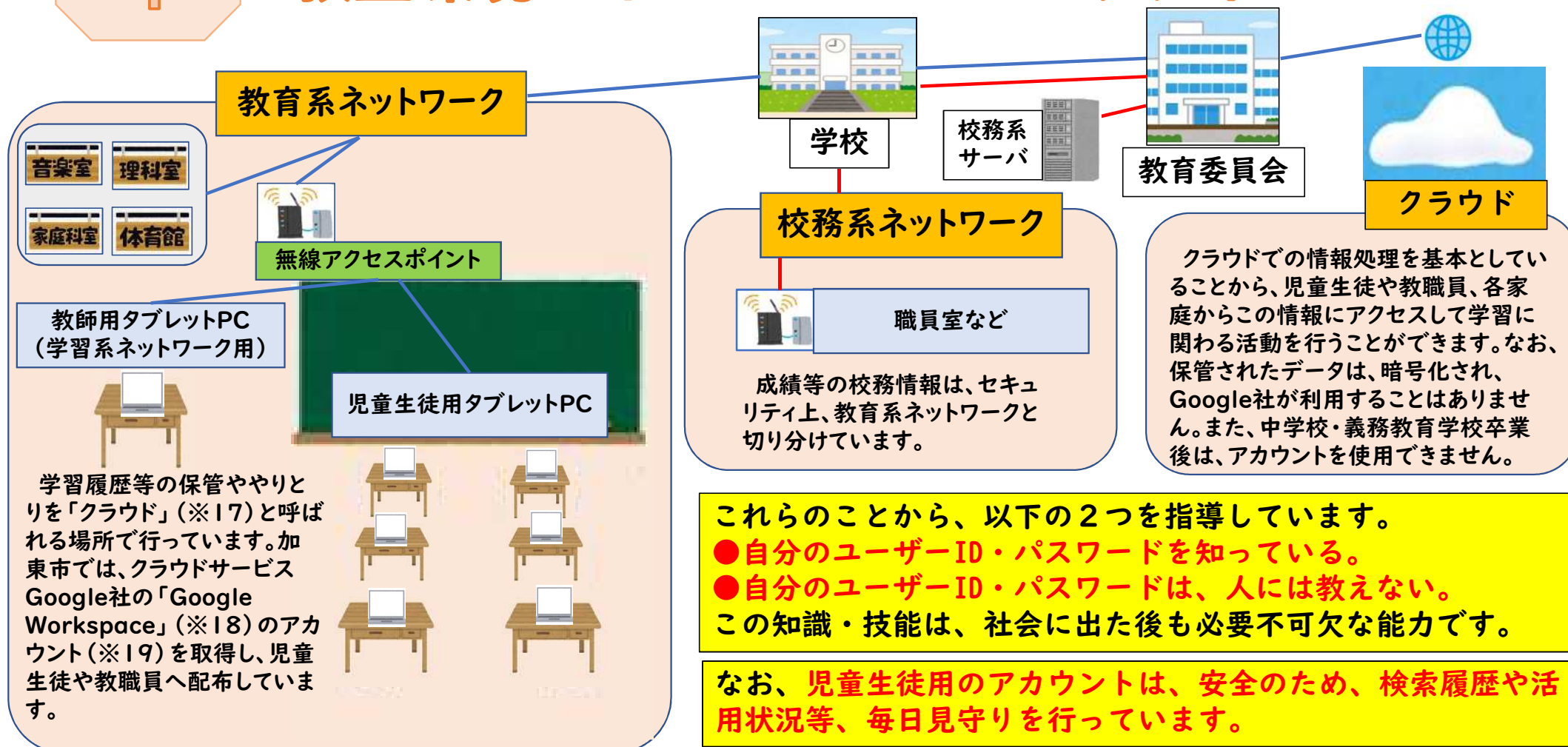


アンケートの実施、オンライン懇談会の実施、教職員による情報共有、部活動ごとの情報共有等ができます。



4

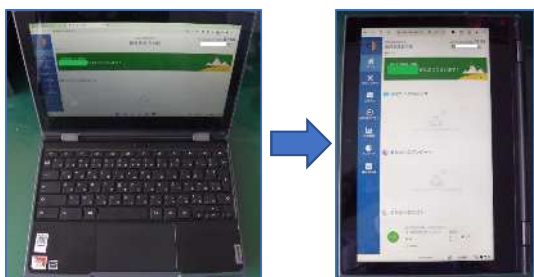
教室環境のイメージとセキュリティ



5

1人1台タブレット型PCの使い方

●使用する端末について



普段は、保管庫で
充電

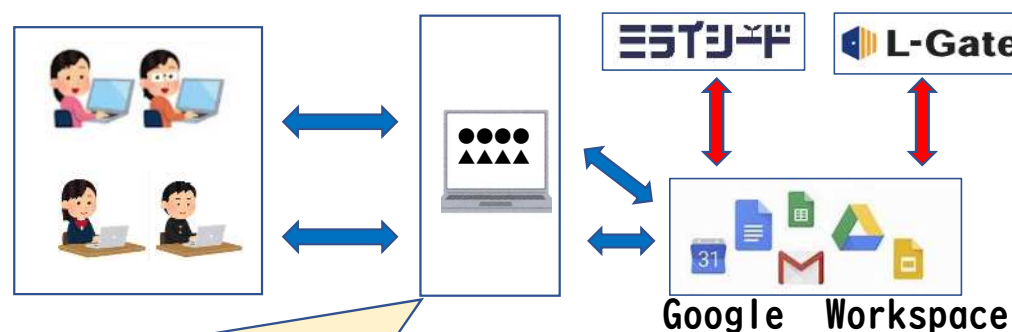
画面を裏返して、タブレット
モードへ変形可能

加東市では、chromebook（クロームブック）という端末を加東市立学校の児童生徒へ貸与しています。Chromebookは、Google社が開発した「Chrome（クローム）OS」を搭載しているパソコンです。

「Chrome（クローム）OS」とは、パソコン本体に入っているアプリをサポートするシステムではなく、ウェブアプリのサポートを主体としています。

「Google ID」とネット環境さえ用意できれば、アプリや保存ストレージ、セキュリティ対策は、ウェブ上で全て行います。

●シングルサインオン（SSO連携）について



ユーザーID: s●●●●●●●@city.kato.ed.jp+パスワードでログイン

一度の認証によって、複数のソフトウェアが利用可能になるシステムです。通常、様々なサービスを利用するには、その都度、専用のユーザーIDとパスワードを認証しないといけません。

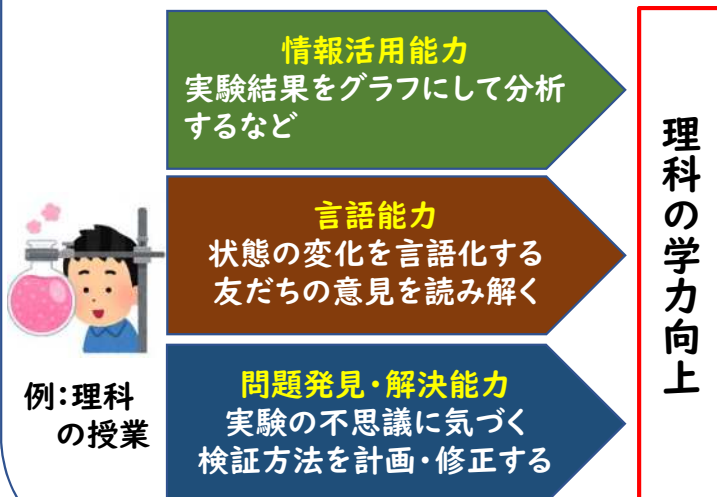
加東市では、Google Workspaceのアカウントを一度入力すると、シングルサインオンによって、学習アプリのミライシード（※20）や学習ポータルL-Gate（エルゲート）（※21）へ専用のIDやパスワードを再度入力することなくログインすることができます。

6

ICTを活用した授業づくり①

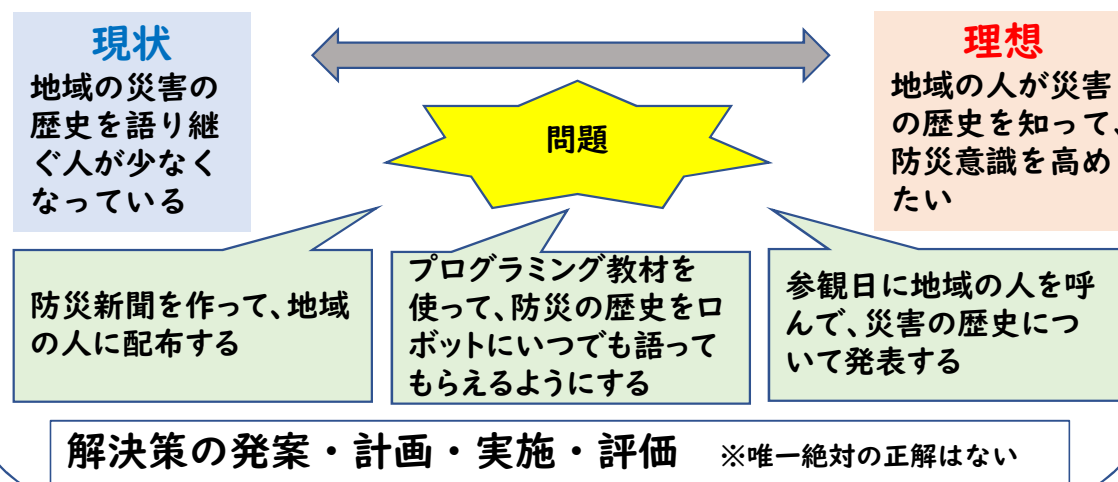
●学習の基盤となる資質・能力

学習指導要領の総則には、「各学校においては、児童（生徒）の発達の段階を考慮し、**言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力**等の学習の基盤となる資質・能力を育成していくことができるよう、各教科等の特質を生かし、教科等横断的な視点から教育課程の編成を図るものとする。」と示されています。



●問題を解決するとは？

一般的には、「問題」とは、理想と現状の差（ギャップ）を指し、その差を解決して理想の状態に近づくことを「問題を解決する」とされています。ですから、理想を設定し、現状を把握すること、その差を分析して解決すべき問題や課題を設定すること、解決策を考え実行し、その評価反省を行い、次につなげることなど、様々な要素を含みます。このような力を育むには、先生からの決められた課題や解決方法を行うだけでなく、児童生徒が主体性を持って「主体的・対話的で深い学び」のある授業を繰り返す必要があります。



●資質・能力の3つの柱

各学校では、「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業による教育活動を展開することで、児童生徒に基礎的・基本的な「知識及び技能」を確実に習得させ、それを活用して課題を解決するために必要な「思考力、判断力、表現力等」を育むとともに、「学びに向かう力」を涵養します。

これらは、資質・能力の3つの柱と呼ばれています。

知識及び技能

各教科等について知っていることやできること、知識同士を関連付けて、深く理解し、社会の中で生きて働く知識も含む



思考力、判断力、表現力等

「知識及び技能」を目的のためにどう使うかという、未知の状況にも対応できる力など



学びに向かう力、人間性など

関わろうとする粘り強さや正しい方向に向かっているかを自己調整するなど社会や人生にいかそうとする力など



授業は、このようなことを踏まえ、計画しています。
このとき、ICTを活用すると次項から紹介するような学習活動の次世代化が図られるようになります。

7 ICTを活用した授業づくり②

●ICT機器・アプリの強みと特性を授業づくりに生かす

各教科等の指導におけるICT機器・アプリの特性・強みは、次のように整理されています。

ICTの強み	その強みによりできること
①多様で大量の情報を収集、整理・分析、まとめ、表現することなどができ、カスタマイズが容易であること	文書の編集 プレゼンテーション 調べ学習 表・グラフの作成 情報共有 試行の繰り返し 
②時間や空間を問わずに、音声・画像・データ等を蓄積・送受信でき、時間的・空間制約を超えること	思考の可視化 学習過程の記録 ドリル学習  
③距離に関わりなく相互に情報の発信・受信のやりとりができる双方向性を有すること	瞬時の共有 遠隔授業 データ送受信等  

このようなICTの強みを活かし、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、ICT機器・アプリを活用した授業改善に日々取り組んでいます。
令和5年度現在、加東市に整備されている主なICT機器、アプリは次のようなものです。



「コロックル」
(中学生・義務教育学校7～9年生
プログラミング教材)
計測制御・双方向性を含
めたプログラミング学習
を行う。



「Robo Blocks」
(小学生・義務教育学校1～6年生
プログラミング教材)
ウェブ上でプログラミン
グを作り、教育用pepper
を動かす命令を送信する。



「ことまど」
(小学校・義務教育学校
4年生以上新聞作成アプリ)
協同編集を行いながら、
新聞を作成し、伝え方
を学ぶ。



「週刊まなびー」
(デジタル新聞)
児童生徒・保護者向
けの教育関連の特集
が掲載されている。

ミライシード



「**オクリンク**」
(授業支援アプリ)
一人ひとりが考えやアイデアを思い思いに表現する活動を支援する。



「**ムーブノート**」
(協働学習支援アプリ)
意見を瞬時にクラス全体へ共有。クラス全体で練り上げる授業を支援する。



「**ドリルパーク**」
(個別学習アプリ)
個々にあったレベルやペースで知識の定着・学ぶ姿勢を支援する。



「**学習探検ナビ**」
(個別学習アプリ)
主体的に学ぶデジタル教材+基礎基本のプリント教材で学力向上を支援する。



「**話し合いトレーニング**」
(個別学習アプリ)
話し合いに必要な姿勢やより良い意見を築くためのスキルが学べる。



「**スピーキングクエスト**」
(5・6年生英語アプリ)
キャラクターとの英会話を通じて、コミュニケーション力を身につける。



「**チャレンジングリッシュ**」
(3～6年生英語アプリ)
習熟度別のトレーニングが行え、聞く力や語い力を高める。



「**カルテ**」
(教員用学習記録アプリ)
ミライシードで行った日々の授業や学習の記録を一元管理する。



「**R-PDCA**」
(授業支援アプリ)
客観的データから、子どもの資質・能力を伸ばす授業づくりのサポートをする。



「**総合学力調査**」 (個別学習アプリ)
総合学力調査に基づく個人別オリジナルカリキュラムをドリルパークで行う。

Google Workspace



「**グーグルクラスルーム**」
(オンライン学習システム)
クラス等、グループ単位で学習内容を運営・管理することができる。



「**グーグルドキュメント**」
(文書作成アプリ)
文書を作成することができる。文書は、クラウドへ自動で保存される。



「**グーグルジャムボード**」
(共有・共同編集アプリ)
リアルタイムで共同編集ができ、グループ単位での共有ができる。



「**グーグルドライブ**」
(オンラインストレージ)
文書や写真等のファイルをクラウドに保存することができる。



「**グーグルスプレッドシート**」
(表計算アプリ)
グラフを作成したり、計算を行わせたりすることができる。



「**グーグルミート**」
(ウェブ会議アプリ)
オンライン上で相手の顔を見ながら、会議をすることができる。



「**グーグルフォーム**」
(フォーム作成アプリ)
アンケートや申し込みなど、フォームを作ることができる。



「**グーグルスライド**」
(プレゼンテーションアプリ)
スライドを作成し、プレゼンテーション資料を作ることができる。

授業のねらいや教科の特性、一人ひとりの学習進度、また、話し合い活動や個別学習の時間などの学習活動の内容によって、これらのアプリを選択し、学習を進めています。

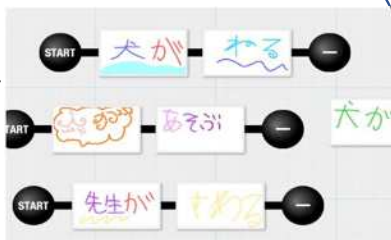
8 各教科における授業の例

授業のねらいや教科の特性、一人ひとりの学習進度、また、話し合い活動や個別学習の時間などの学習活動の内容によって、これらのアプリを選択し、学習を進めています。

国語

《小学校》

主語と述語のカードをつなげて文章を作る学習活動を通して、2つの働きについて、理解を深める。



友だちの考えた意見をすぐに共有することができ、自分の考えと友達の考えを比較することで、何度も繰り返し作り直すことができる。

《中学校》

「走れメロス」の主要な登場人物像を捉えるため、「行動・発言・性格」「人物像」について、各グループごとに作成し、クラスで交流をする。



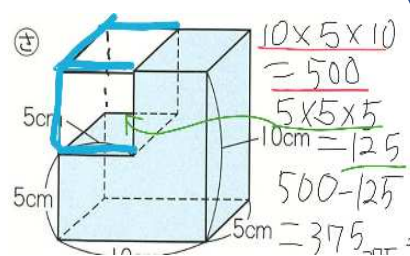
考えを班やクラスで共有する時間が短縮され、多くの交流を行うことにより、登場人物の特徴について気付くことができる。

数学 算数

《小学校》

複合図形の体積の求め方について考え、既習の底面積×高さを使って、体積を求められることを知る。

友だちの考えた立式をクラス全体で容易に共有することで、体積を求める式が多くあることに気付かせることができる。

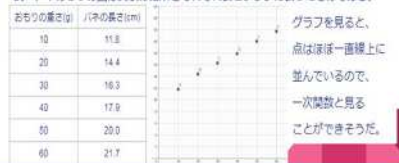


《中学校》

一次関数をまとめたレポートの内容をスライドにまとめ、班員に伝え、理解を深める。

一次関数の利用：バネの伸び編

問題 ある10cmのバネに、10gのおもりを1～6個つけ、全体のバネの伸びを調べ、下の2つの図は実験の結果をそれぞれ表とグラフに表したものである。



「〇〇さんの△△したところが良かった。」と友だち同士で工夫した点を瞬時に交流ができ、発表が苦手な生徒も積極的に参加することができる。

生活

《小学校》

タブレットのカメラ機能で見つけた秋を撮影し、特徴を書くことで、季節の変化に気づかせることができる。



家庭学習で家の周りの秋を撮影することで、興味を持たせたり、校内で一緒に撮影をさせたりすることで、全員が「秋見つけ」を行うことができる。

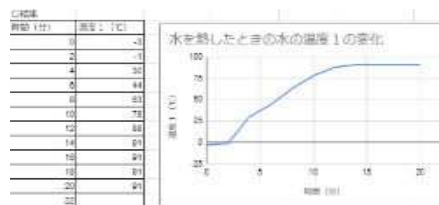
《小学校》

1年生に学校を紹介するため、学校のすてきなところを撮影・情報共有する。



写真を撮って、共有することで、時間短縮を図る。低学年から操作を体感することで、機器操作に慣れさせる。

理科



《小学校》

表計算アプリを用いて実験結果を比較し、水の温度の変化を理解する。
数値を入力することでグラフが作成され、考察の時間を確保できる。ほかのグループの実験結果と比較することができる。

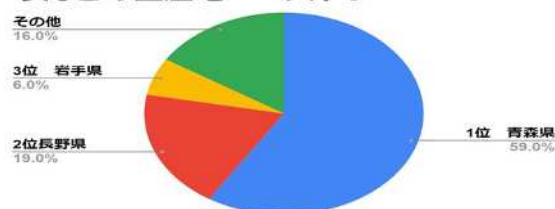
1	0.63	0.71	0.08
7	1.06	1.31	0.25
5	1.14	1.43	0.29
3	1.5	1.81	0.31
6	1.51	1.8	0.29
10	1.58	1.94	0.36
8	1.18	1.66	0.48
9	1.78	2.1	0.32
2	2.16	2.43	0.27
4	2.8	3.37	0.57
銅だけの質量 できた酸化銅の質量 化合した酸素の質量			
班	銅の質量[g]	できた酸化銅の質量[g]	化合した酸素の質量[g]

《中学校》

全ての班の実験結果をグラフ化し、金属に化合する酸素の質量の規則性を知る。
実験結果の共有ができ、たくさんの実験結果から考察を行うことができる。自分たちのグループの実験に責任をもって取り組むようになる。

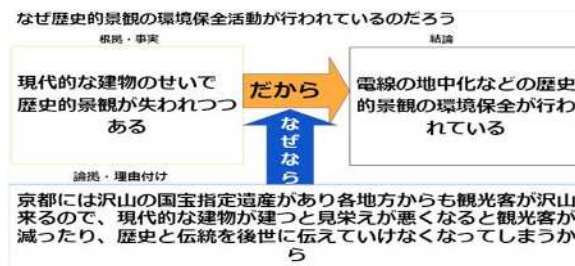
社会

りんごの生産地 ベスト3



《小学校》

食料品毎に生産地をまとめて、生産量について理解する。
表計算アプリやプレゼンテーションアプリを複合的に活用することで、都道府県毎の生産量について、理解を深めることができる。



《中学校》

奈良や京都の人々が、歴史的な景観の保全に取り組んでいる理由を考察し、その結果を説明する。
個別でネット検索をする際に「歴史」「文化」「行政」「地理」など多くの観点から調べることができ、根拠となる資料を探すことができる。

外国語



《小学校》

授業で聞き取れなかった語彙を個別に学習する。
レッスンごとに学習結果が表示され、キャラクターが褒めたり、励ましたりするため、自分に合ったペースや学習内容で取り組むことができる。



《中学校》

身近な日本の伝統文化を調べ、プレゼンテーションアプリを用いて、英語で紹介する。
視覚的な補助を行うことができ、自分が調べた内容を相手に分かりやすく、伝えることができる。グループで行うことができ、協働的な学びを行える。

音楽



《小学校》

リズムとリズムのつながぎの特徴に気づき、反復のある8拍のリズムを作る。
リズムの変更と提出を短時間で手軽に行えるため、友達の意見を自分の作品に反映させやすくなる。



《中学校》

動画を視聴し、ギター仕組みを知ったり、基本的な奏法を身につける。
教科書や黒板だけでは説明しきれないことも、提示された画像を真似することで、正確に技能を習得することができる。画像は、簡単に提示することができるので、復習も容易にできる。

美術 図画工作



《小学校》

自分の作品を写真で撮影・共有し、お互いの作品について鑑賞を行う。
画面を通して、様々な角度から作品を見ることで、違った作品の良さに気づくことができる。



《中学校》

グループで作品を共有しながら、自分の考えをまとめ、様々な見方で作品の面白さに気づく。
クラス全員の考えに触れることができ、新しい視点から、作品を捉えることができる。書き直しも簡単にでき、試行錯誤しながら、学びを深められる。

家庭



《小学校》

様々なメニューの中から料理を組み合わせ、食事の献立を作る。
主食、汁物、おかずから5品を選び、栄養バランスについて、考えさせることができる。

【手作りハムと市販のハム どちらを選びますか？】
(理由も含めて100字以上)

忙しいときは、市販ハムとかでもいいと思います。ですが、小さい子供とか来ていたときは、手作りハムのほうがいいと思います。理由は、今回ハムについて調べて、思っていたよりも、食品添加物が多く使われていることを知ったからです。食品添加物は、取る量が一定を超えると、体に害を与えるそうなので、小さい子には、何があるかわからないし、できるだけ体にいいほうが食べたほうがいいと思うので、あまり食べさせてあげないほうがいいと思いました。

《中学校》

市販のハムの食品表示を正しく読み取り、手づくりのハムと比べてどちらが自分にとって良いのか考えて、食品添加物やアレルギーについて知る。
友だちの意見と共有することで、様々な視点からアレルギーについて考えることができる。

技術



《中学校》

情報処理をする手順を知り、目的に合った動きになるようにプログラミングを工夫する。
プログラム通りに機器を動かすため試行錯誤し、プログラミング的思考(※22)を高める。

特別活動



《小学校(クラブ活動)》

機器が自分の思った動きをするように、プログラミングを作る。
失敗したときに原因を考え改良する問題解決能力を養うことができる。

体育 保健体育



《小学校》

演技のタイミングがそろうよう、個人の技や集団の演技を動画で撮影し、分析する。
自分の体がどのように動いているのか客観的に捉えることができたり、グループでアドバイスし合ったりして、技や構成の改善につなげることができる。



《中学校》

感染症はどのような病気なのか理解して、それを防ぐための行動について考える。
スライドは、授業のねらいを分かりやすく示したり、課題への興味関心を高めたりすることができる。

総合的な学習の時間



《小学校》

教育用pepperを活用し、来校された保護者の方へ学校案内をする。
保護者の方を対象にした学校案内のプログラミングを作成することで、社会に役立てるという意識を高めることができる。

ここは、沖縄にある「糸数アブチラガマ」です。そこへ、平和学習で東条学園の6年生と現地の案内の人がやってきました。	
では、ガマの中を案内します！足元には十分に気を付けてくださいな。	【スクリーン9】カメラを映す
めっちゃ暑いし、怖いなあ	
懐中電灯消してみない？	止まる
そうやな！	
それでは皆さんにも体験してもらいます！	照明を落とす
うわあ（みんなで）、めっちゃ暑いやん！	
こんな中で、避難した方やケガをした方が暮らしていたんだね	照明つける

《中学校》

平和学習の発表に向けて、プレゼンテーションや劇の練習を行う。聞き手は、発表を聞きながら、気づいたことをリアルタイムでシナリオに書き込みながら共同編集を行い、シナリオを完成させる。

9

留意事項

姿勢について



めせんは がめん に
直行 (ちょっこう) す
る かくどに
ちかづける

がめんの かくどを
かたむける

おしりを うしろにして
ふかく こしかける

ゆかに りょうあしを
つける

机の上の整理整頓について

教科書、ノートに加えてタブレットPCを使って授業をする場合、机の上がせまくなり、無理な姿勢で学習を行うことになります。利用しない教材や教具は、片付けるようにしましょう。



画面の反射について



画面が反射して、見えにくいと目の疲れが増し、授業に集中できなくなります。姿勢に気を付けることで、画面の反射をおさえられます。

睡眠前のICT機器の利用について

睡眠前に強い光を浴びると、入眠作用があるホルモン「メラトニン」の分泌が阻害され寝つきが悪くなります。したがって、睡眠前にICT機器を利用すると、その画面の明るさから、寝つきが悪くなる可能性があります。夜ふかしをふせぐためにも睡眠前の強い光を発するICT機器の利用を控えましょう。



ヘッドフォンの音量について

利用時間の長さや大音量（おおむね85デシベル以上：鉄道ガード下程度）での使用によっては、騒音性難聴を発病する可能性があります。音を大きくしすぎないように、注意しましょう。



活用場面・安全面について

主体的・対話的で深い学びのため、1人に1台タブレット型PCを貸し出しています。学習になることは、主体的に活用するよう、薦めてください。

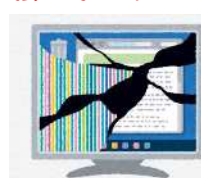
なお、誤って有害なサイトにアクセスできないよう、フィルターを設定し、随時更新をしています。加東市立学校の児童生徒のサイトへのアクセス履歴や検索履歴等は、毎日検索がかけられており、安全に正しく活用できるよう、加東市教育委員会が随時見守りを行っています。活用状況で気になる点があれば、学校を通じてお知らせします。

また、22:30～6:00の間は、アクセスができないようになっています。お子さんの活用方法について気になる点があれば、学校へご相談ください。

取扱いについて

1人1台タブレット型PCは、精密機械です。取扱いには、注意して、大切に使いましょう。万が一、故障・破損した場合は、速やかに学校へ届け出てください。

強い力をあたえないで！



画面は、液晶のため、衝撃に弱く、画面がわれてしまったり、その破片でけがをしてしまったりすることがあります。画面は閉じて持ち運ぶ、衝撃を与えないように持ち帰るなど、気をつけましょう。

水分に弱い！



水分にとっても弱いです。もし、水がかかってしまうと、機能そのものが壊れてしまうことがあります。お茶やジュースなど、こぼさないように置く位置に気をつけましょう。

なくしたり、盗ったりしないで！



1人1台タブレット型PCや家庭用に貸し出している充電器は、加東市教育委員会が購入し、学習のために児童生徒へ貸し出しています。次の人が気持ちよく使えるよう、大切に使いましょう。万が一、なくしてしまった場合は、速やかに学校へ届け出てください。

10 生成AIの活用について

生成AIは、あらかじめ学習された大量のデータをもとに文章や画像などを生成する能力をもった人工知能です。専門的な知識がなくても簡単な指示を入力するだけで、自然な文章を自動で作ります。しかしながら一方で、偽情報の拡散や個人情報の流出、著作権侵害などのリスクもあります。

対話型生成AIの種類の例

- ・ChatGPT (チャットジーピーティー)
- ・Bing Chat (ビングチャット)
- ・Bard (バード) など

対話型生成AIの仕組みは、過去の文章をもとに次の単語を予測して、出力します。AIの種類によって、出力される文章は違います。

例



過去の文章をもとに次の単語を予想します。過去の文章をもとにするものなので、でたらめを言うことに注意が必要です。出てきた文章を鵜呑みにしないことがとても重要！自分自身が、正しいか、正しくないか判断することが大切です。

～確かめよう！～

- ① 生成AIの利用規約を守りましょう。
 - ・Chat GPTは、13歳以上、18歳未満の場合は保護者同意が必要。
 - ・Bing Chatは、青年であること、未成年の場合は保護者同意が必要。
 - ・Bard は、18歳以上であることが必要。
- ② 生成AIのメリット・デメリットを考えて、情報の正しさを判断しましょう。
- ③ 個人情報やプライバシーに関する情報など、入力しないようにしましょう。
- ④ 著作権の侵害につながるような使い方はしないようにしましょう。
- ⑤ 生成AIに全て任せるのではなく、最後は自分が判断しましょう。
- ⑥ AIを使って、作った成果物は、AIを利用したことやAIからの引用をしたことを明らかにしましょう。
- ⑦ 読書感想文など、AIによって作ったものをそのまま自分の作品として、応募したり、提出したりすることは、不適切で不正な行為です。自分自身のためにも、利用についてはよく考えましょう。

生成AIを利用する場合、生成AIは、副操縦士で、自分自身が操縦士であることを認識することがとても重要です。あなたの知識や思考、意思決定を大切にしましょう。

